

Windows セキュリティパッチ配信時の適用手順について

Windows セキュリティパッチ配信時の適用手順について

本書は、Windows セキュリティパッチ配信（WindowsUpdate）における医療機関・薬局・訪問看護ステーションにてご対応いただく適用手順を説明します。配信対象OSをご確認の上、留意事項及びセキュリティパッチ適用手順をご参照いただき、ご対応をお願いします。

配信対象OS

Windows セキュリティパッチ配信対象は下記OSの資格確認端末のみです。

- Windows10 IoT Enterprise 2019 LTSC
- Windows10 Enterprise 2019 LTSC
- Windows10 IoT Enterprise 2021 LTSC
- Windows10 Enterprise 2021 LTSC
- Windows11 IoT Enterprise 2024 LTSC
- Windows11 Enterprise 2024 LTSC

※上記、OSのうち資格確認端末にレセプトコンピュータ等の機能を搭載していないこと。

※上記以外のOS、資格確認端末にレセプトコンピュータ等の機能を搭載している場合は、レセプトコンピュータ等システムベンダへご相談ください。

Windows セキュリティパッチ配信時の適用手順について

留意事項

- ✓ Windowsセキュリティパッチは月次で配信される予定です。
- ✓ Windows セキュリティパッチの配信については、回線の混雑状況を考慮し、負荷分散を行い配信を行っているため、即時配信ではなく、数日程度かかる場合があります。
- ✓ 顔認証付きカードリーダーのアプリケーションに障害が発生した際には、改修プログラムの配信を優先するため、Windows セキュリティパッチの配信が遅延する可能性があります。
- ✓ **利用者の業務時間中に自動再起動が発生しないよう、端末の「アクティブ時間」の設定がされているか確認してください。**
確認方法及び設定手順は別紙「Windows セキュリティパッチ（WindowsUpdate）追加設定手順書」をご確認ください。
- ✓ 本手順書は、基本的な構成でのWindowsセキュリティパッチ配信時の適用手順を示したものになります。
WindowsUpdateの自動更新設定をしている場合は本作業は不要です。
資格確認端末の設定について不明点がある場合は、資格確認端末の設定作業を行った業者へお問合せください。

Windows セキュリティパッチ適用手順

オンライン資格確認を実施いただく業務中にWindowsセキュリティパッチの配信が自動で行われます。
業務終了後の**端末シャットダウン時に「更新して〇〇」が表示されますので、必ず更新を行ってください。**

業務の流れ	手順の概要	操作イメージ
業務開始 ↓ 端末の電源をいれる	1 端末へログイン <ul style="list-style-type: none">資格確認端末をの電源を入れ、右記の画面でWindowsのログインをしてください。	 <p>Windowsのログインをします</p>
業務中	(通常通り業務で利用)	
↓ 端末の電源を切る	2 端末の更新 <ul style="list-style-type: none">資格確認端末をシャットダウンする際に、WindowsUpdateの適用が有る場合、シャットダウン選択時に右記の画面の通り、「更新して〇〇」と表示されます。「更新して再起動」を選択します。セキュリティパッチの適用は数分から数十分かかることがあります。※「更新してシャットダウン」を選択すると3、4の作業は不要となりますが、翌日端末起動時に適用するため起動に時間がかかります。	 <p>「更新して再起動」ボタンを押下</p>
↓ 業務終了	3 再起動 <ul style="list-style-type: none">セキュリティパッチ適用後の再起動が完了するまでお待ちください	
	4 端末の電源オフ <ul style="list-style-type: none">セキュリティパッチ適用後の再起動が完了したら、資格確認端末をシャットダウンしてください。※再度ログインして、シャットダウンする必要はございません。	 <p>「シャットダウン」ボタンを押下</p>

※本ページの作業概要は各医療機関・薬局・訪問看護ステーションで現在ご利用の端末の設定により異なる可能性があります

【別紙】

Windows セキュリティパッチ（WindowsUpdate）追加設定手順書

業務時間中に自動再起動が発生しないよう、端末の「アクティブ時間」の設定がされているか次頁以降の手順で確認してください。

WindowsUpdate追加設定手順

本別紙は、資格確認端末のWindowsUpdateの追加設定における目的、留意事項、設定手順について記載した手順書となります。
※本手順書は、Windows11で作成しています。

目的

- 本書は、業務中にWindowsUpdateによる強制的な再起動が発生しないように設定する手順書である。
- Windowsの「アクティブ時間」を設定し、再起動を抑制したい時間帯を設定する。

留意事項

- ✓ 本書は医療機関等にて業務開始／終了時に手動で起動／停止を実施する端末を対象とする。
- ✓ 資格確認端末の設定をご自身で行っていない場合は、資格確認端末の設定作業を行った業者へご相談ください。

【初期設定】端末の「アクティブ時間」設定手順（1 / 5）

- ✓ 「アクティブ時間」を業務時間帯に設定頂くことで、業務中の再起動を防止します。
- ✓ また、「アクティブ時間」の自動調整機能をオフにし、想定外の再起動を防止します。

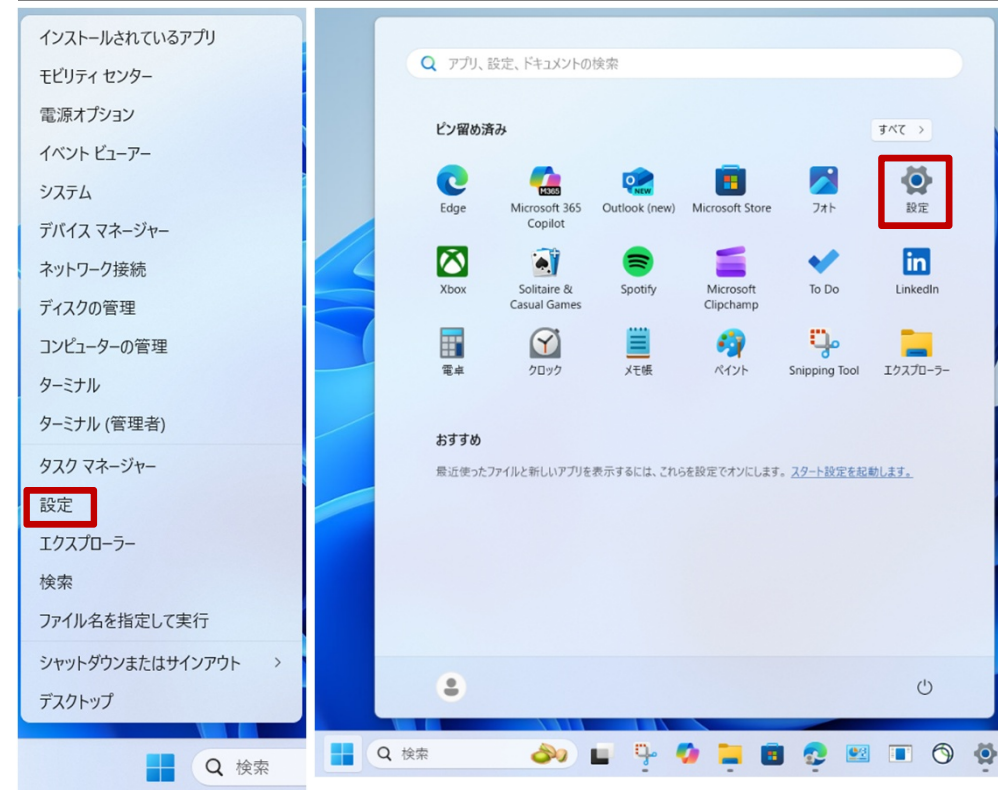
手順の概要

1

Windows
Update画面へ
アクセス

- OqsComAppユーザーでサインインし、スタートボタンの上で右クリックまたはスタートボタンから 設定 をクリックする。

操作イメージ



【初期設定】端末の「アクティブ時間」設定手順（2 / 5）

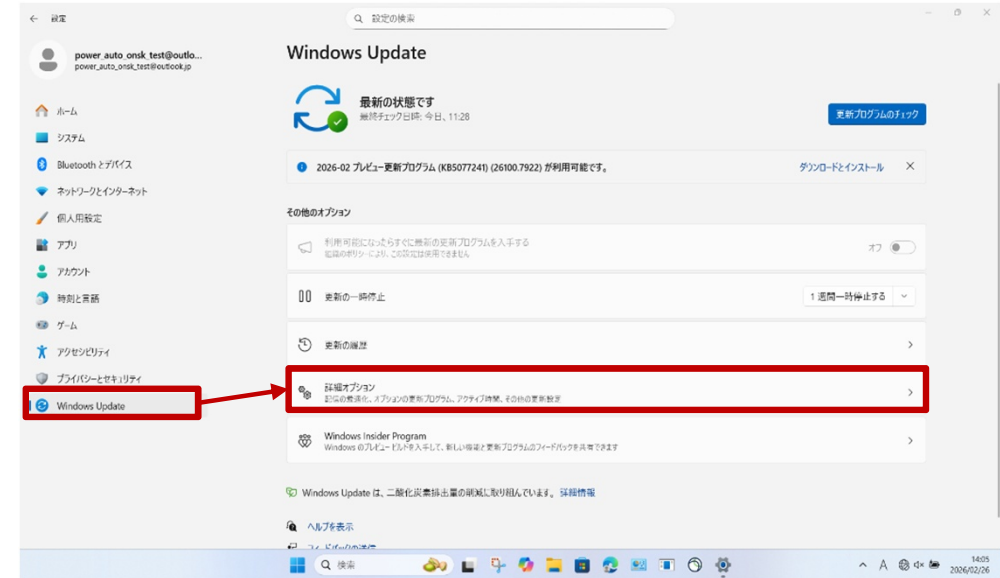
（前頁の続き）

手順の概要

操作イメージ

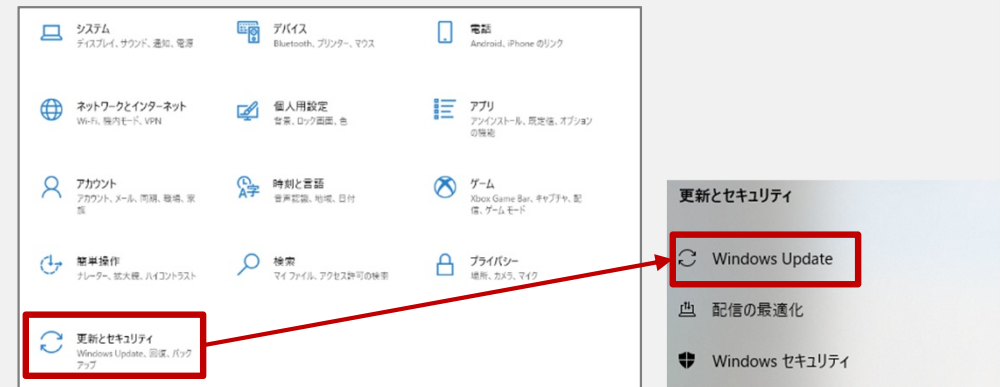
2

- 左側の領域で WindowsUpdate をクリックし、詳細オプション をクリックする。



アクティブ時間の 変更

- ✓ Windows10の場合
更新とセキュリティ をクリックし、 Windows Update を
クリックする。



【初期設定】端末の「アクティブ時間」設定手順（3 / 5）

（前頁の続き）

手順の概要

2

- アクティブ時間 をクリックし、表示される アクティブ時間を調整する を手動にする。

アクティブ時間
の変更

操作イメージ

Windows Update > 詳細オプション

その他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る
Windows の更新プログラムと共に、他のアプリやサービスの更新プログラムを取得します。詳細情報 オフ

最新の状態にしてください
できるだけ早く（アクティブ時間中であっても）再起動して更新を完了し、再起動の 15 分前には通知をするようにし、このデバイスのスイッチが入っており電源に接続されていることを確認します オフ

従量制課金接続で更新プログラムをダウンロードする
データ料金が適用されることがあります オフ

更新を完了するために再起動が必要な場合に通知を受け取る
更新を完了するためにデバイスの再起動が必要な場合は、通知を表示します オフ

アクティブ時間
これらの時間帯にデバイスが再起動されることはありません。 現在は 8:00 から 17:00 まで

Windows Update > 詳細オプション

その他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る
Windows の更新プログラムと共に、他のアプリやサービスの更新プログラムを取得します。詳細情報 オフ

最新の状態にしてください
できるだけ早く（アクティブ時間中であっても）再起動して更新を完了し、再起動の 15 分前には通知をするようにし、このデバイスのスイッチが入っており電源に接続されていることを確認します オフ

従量制課金接続で更新プログラムをダウンロードする
データ料金が適用されることがあります オフ

更新を完了するために再起動が必要な場合に通知を受け取る
更新を完了するためにデバイスの再起動が必要な場合は、通知を表示します オフ

アクティブ時間
これらの時間帯にデバイスが再起動されることはありません。

アクティブ時間を調整する

手動
自動的に確認する

【初期設定】端末の「アクティブ時間」設定手順（4 / 5）

（前頁の続き）

手順の概要

操作イメージ

2

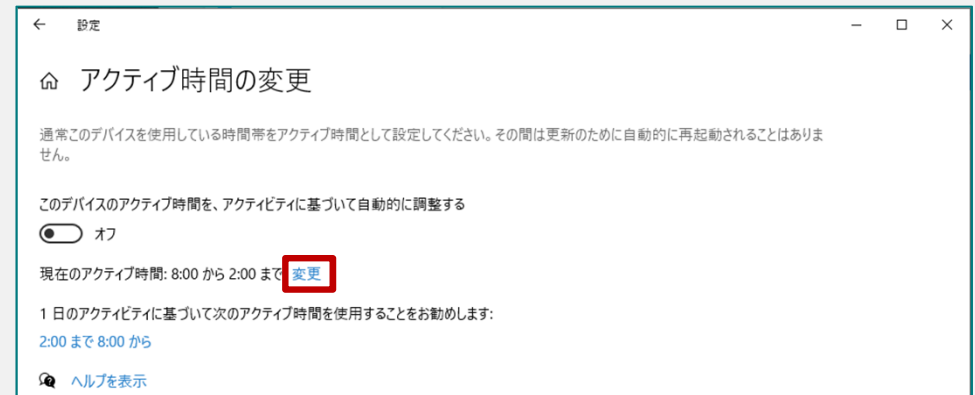
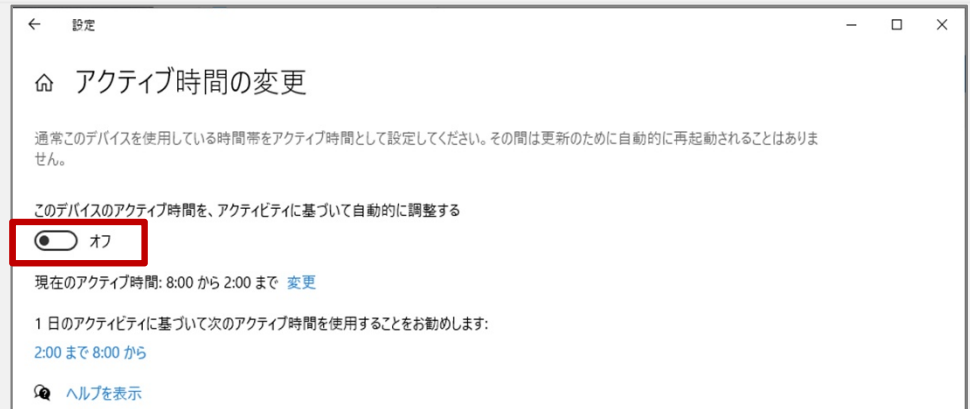
アクティブ時間 の変更

✓ Windows10の場合

「このデバイスのアクティブ時間を、アクティビティに基づいて自動的に調整する」を オフ にする。

※既に設定がオフになっている場合もあります。

「現在のアクティブ時間：xx:xxからxx:xxまで」の右側の
変更 をクリックする。



【初期設定】端末の「アクティブ時間」設定手順（5 / 5）

（前頁の続き）

手順の概要

2

アクティブ時間 の変更

- 端末の再起動を抑制したい時間帯を入力する。（画面例では08:00～20:00まで再起動を抑制します）
※開始時刻、終了時刻については、業務に支障が無いよう
開始時刻 = 業務開始時刻よりも前
終了時刻 = 業務終了時刻よりも後に設定します。

- ×（閉じる）をクリックします。

✓ **Windows10の場合**
保存 をクリックして設定を終了する。

操作イメージ

Windows Update > 詳細オプション

その他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る
Windows の更新プログラムと共に、他のアプリやサービスの更新プログラムを取得します。 [詳細情報](#) オフ

最新の状態にしてください
できるだけ早く（アクティブ時間中であっても）再起動して更新を完了し、再起動の 15 分前には通知をするようにし、このデバイスのスイッチが入っており電源に接続されていることを確認します オフ

従量制課金接続で更新プログラムをダウンロードする
データ料金が適用されることがあります オフ

更新を完了するために再起動が必要な場合に通知を受け取る
更新を完了するためにデバイスの再起動が必要な場合は、通知を表示します オフ

アクティブ時間
これらの時間帯にデバイスが再起動されることはありません。 現在は 8:00 から 20:00 まで ^

アクティブ時間を調整する 手動

開始時刻
8 00

終了時刻 (最大 18 時間)
20 00

アクティブ時間

このデバイスを通常いつ使うかを知らせるアクティブ時間を設定します。アクティブ時間中は自動的に再起動せず、使用中かどうかを確認せずに再起動することはありません。

開始時刻
8 00

終了時刻 (最大 18 時間)
20 00

保存 キャンセル